

S-1・パクリタキセル療法

FN:— 催吐性:軽

診断名:再発胃癌

○投与スケジュール

Day1~14(内服):S-1 po 80mg/m²/day

1日2回 朝・夕食後に内服 14日間服用後7日間休薬

Day1,8(点滴):パクリタキセル(PAC) div 50mg/m²

(1コースDay1投与の始め10分はゆっくり)

○注意事項

- ・投与開始10分間は、主治医あるいは看護師によるベッドサイドでの観察を行うこと。
- ・バイタルサイン(血圧、脈拍数)のモニタリングを投与後1時間は15分毎に行うこと。
投与終了後6時間までは1時間毎に行うことが望ましい。
- ・GⅢ以上の骨髄抑制・末梢神経障害が発現した場合、次週の投与量を 10mg/m²減量し、尚かつ次コースで同様の副作用が発現した場合、投与を中止する。

☆関節痛・筋肉痛の出現には NSAID、予防投与には芍薬甘草湯がある。

☆末梢神経障害の症状軽減の目的に、リボトリール 0.5mg 分1眠前(適宜増量)が使用できる。他の治療薬としてビタミンB群(メチコバール、ピドキサル)、牛車腎気丸などがある。